



SHINSEI BANK

**2007年度連結決算 会社説明会  
決算・ビジネスハイライト**

**株式会社新生銀行  
2008年5月15日**

## ✓ パート1

代表執行役社長 ティエリー・ポルテ

- ◆ 2007年度連結業績の概要
- ◆ 投資家トピックス
- ◆ 新戦略
- ◆ 業績予想と中期指標

## ■ パート2

専務執行役 最高財務責任者 ラファール・グプタ

- ◆ 資金調達と流動性
- ◆ 業務分野の概要
  - ✓ インスティテューショナルバンキング
  - ✓ リテールバンキング
  - ✓ コンシューマーアンドコマーシャルファイナンス

# 2007年度連結業績の概要： 要点

 強固な資本基盤に支えられ収益性を回復

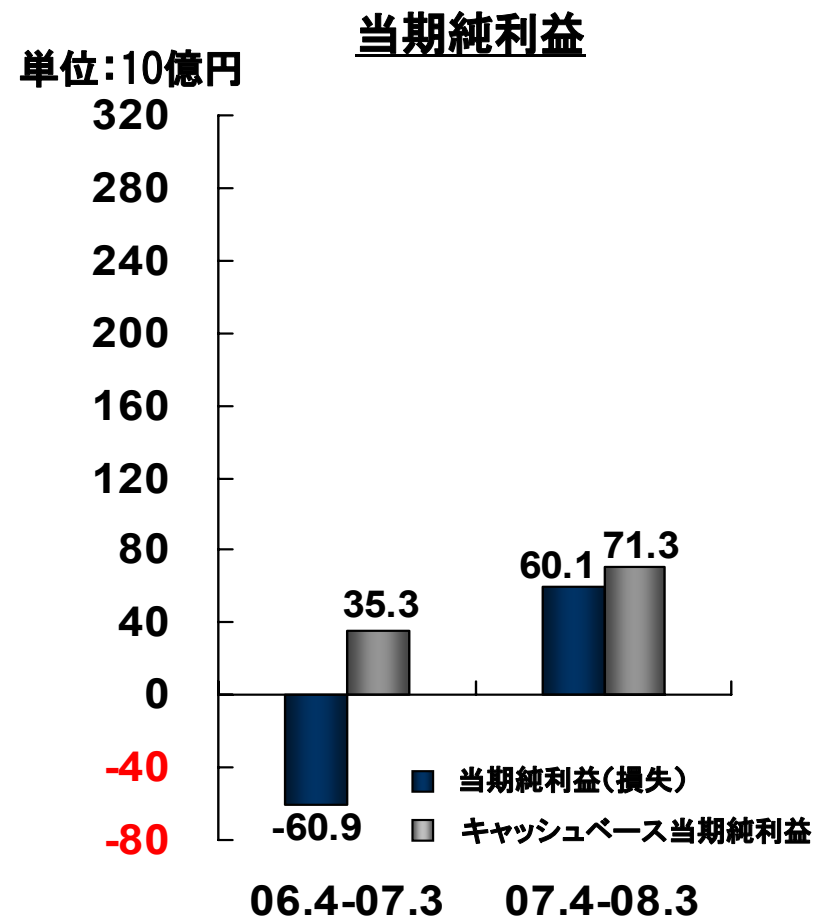
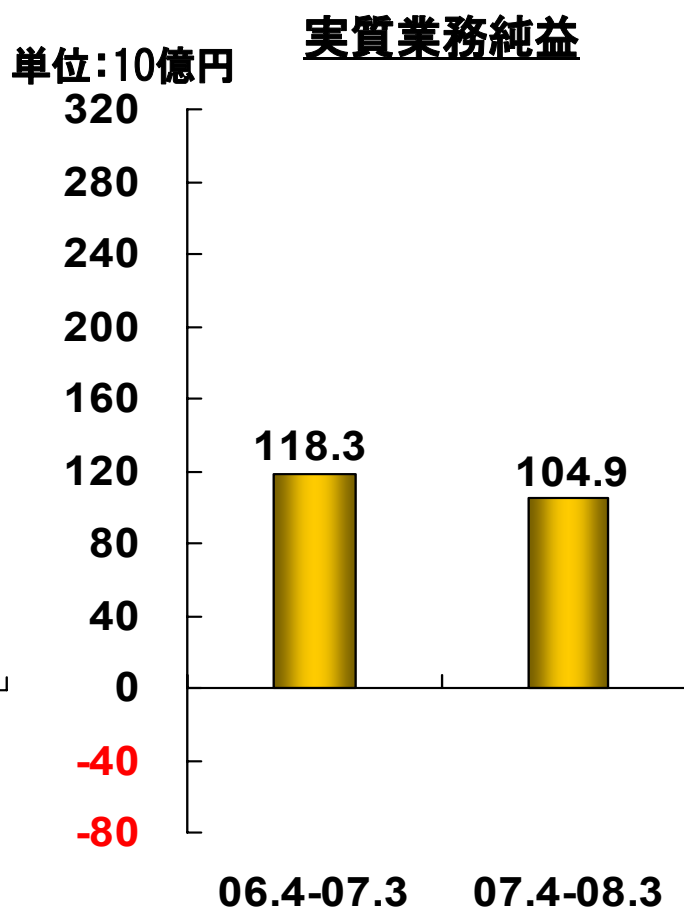
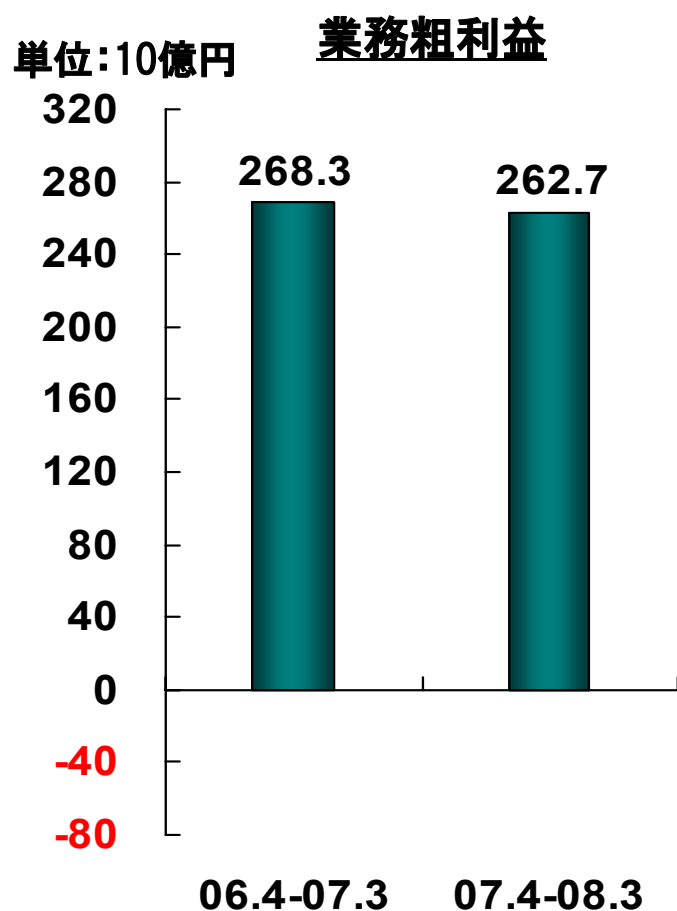
単位:10億円

	2007.4-2008.3	2006.4-2007.3	変化率 %
業務粗利益	262.7	268.3	-2.1%
実質業務純益	104.9	118.3	-11.4%
当期純利益	60.1	-60.9	+198.6%
キャッシュベース当期純利益	71.3	35.3	+102.0%
潜在株式調整後1株当たり当期純利益(円)	32.44	-31.79	+202.0%
1株当たり配当額(円)	2.94	2.66	+10.5%
ROA	0.5%	-0.6%	-
ROE (潜在株式調整後)	8.8%	-8.1%	-
	<b>2008.3</b>	<b>2007.3</b>	<b>Change %</b>
総資産	11,525.7	10,837.6	+6.3%
潜在株式調整後1株当たり純資産(円)	364.35	355.09	+2.6%
自己資本比率	11.74%	13.13%	-
Tier I 比率	7.37%	8.11%	-
不良債権比率*	0.95%	0.53%	-

\*金融再生法に基づく開示不良債権比率(単体)

# 2007年度連結業績の概要： 業務粗利益、実質業務純益、当期純利益

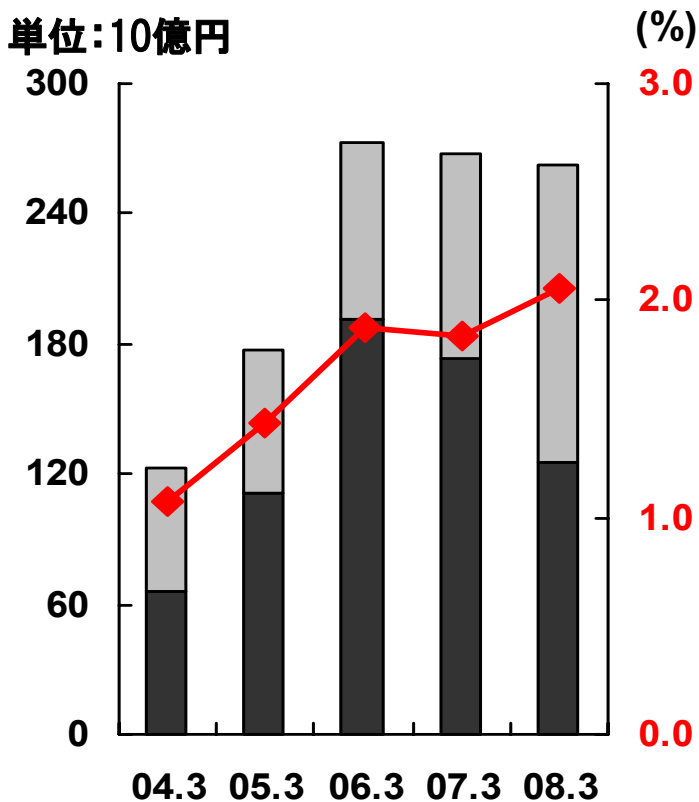
➡ 米国市場の混乱の影響を受けたが、将来の成長へ向けた取り組みを実行



# 2007年度連結業績の概要： 経営指標

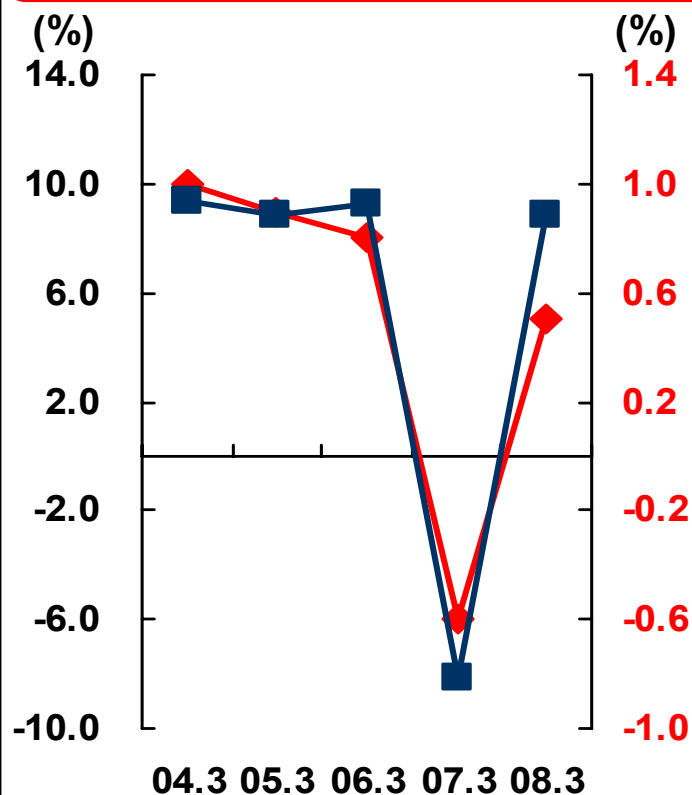
➡ バランス良く、将来につながる経営指標

## 成長性



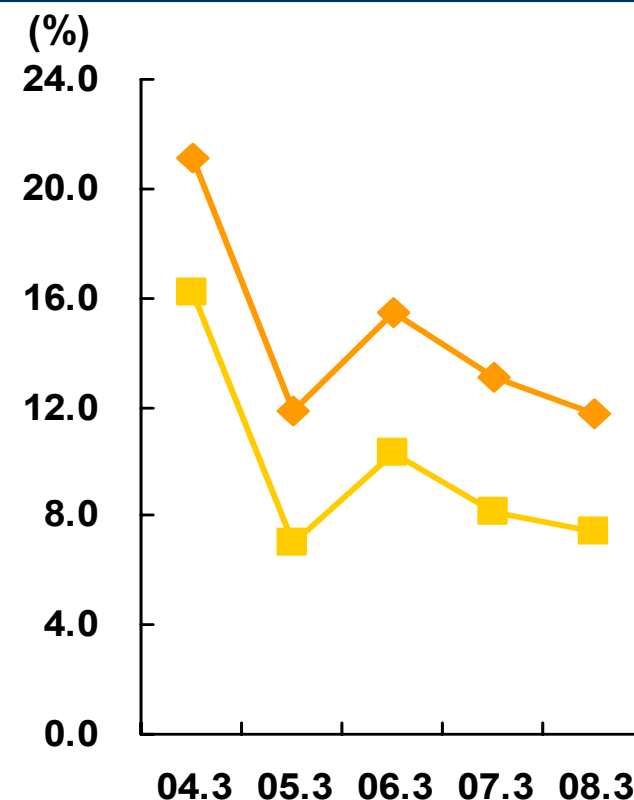
■ 資金利益 (左軸)  
 ■ 非資金利益 (左軸)  
 ◆ ネットインタレストマージン (右軸)

## 収益性



◆ ROA(右軸)  
 ■ ROE(潜在株式調整後)(左軸)

## 健全性



◆ 自己資本比率(バーゼルII、F-IRB)  
 ■ Tier I 比率

# 2007年度連結業績の概要:

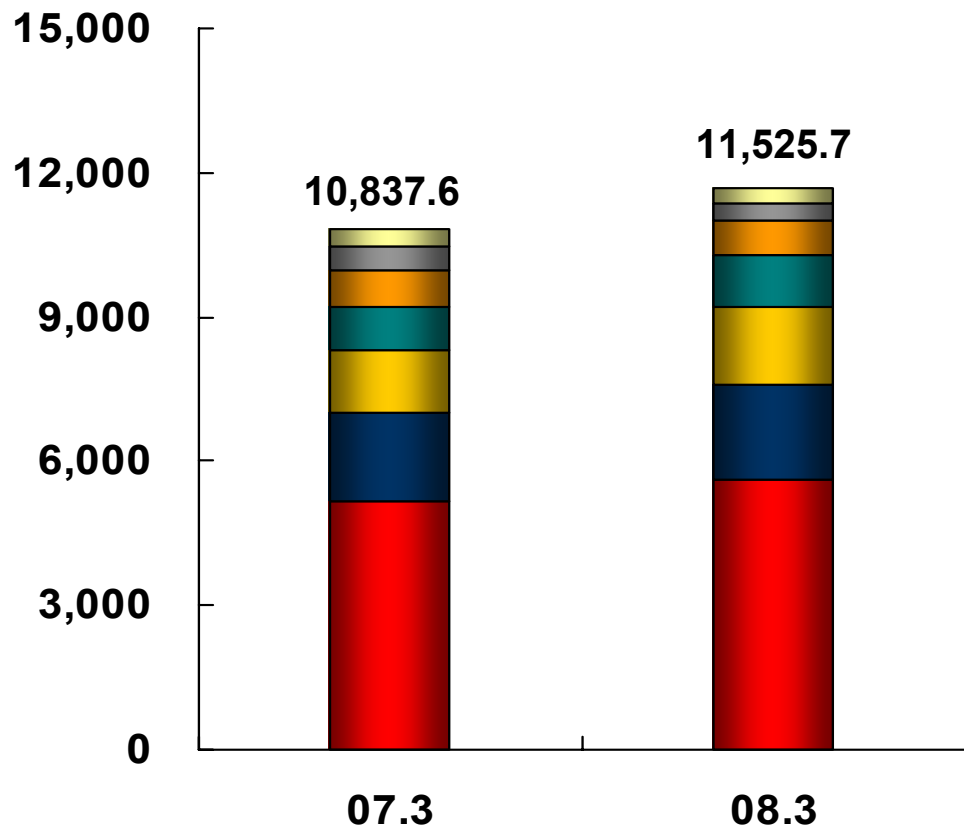
## 成長と多様化

→ 堅調な需要を背景とした資産の伸び

### 総資産

### 主要ポイント

単位:10億円



力強い需要を背景に総資産は6.3%増加

貸出残高は主に住宅ローンや  
スペシャルティファイナンスローンの増加と  
シンキの連結子会社化により9.2%増加

有価証券は主に国内の社債の  
増加により6.8%増加

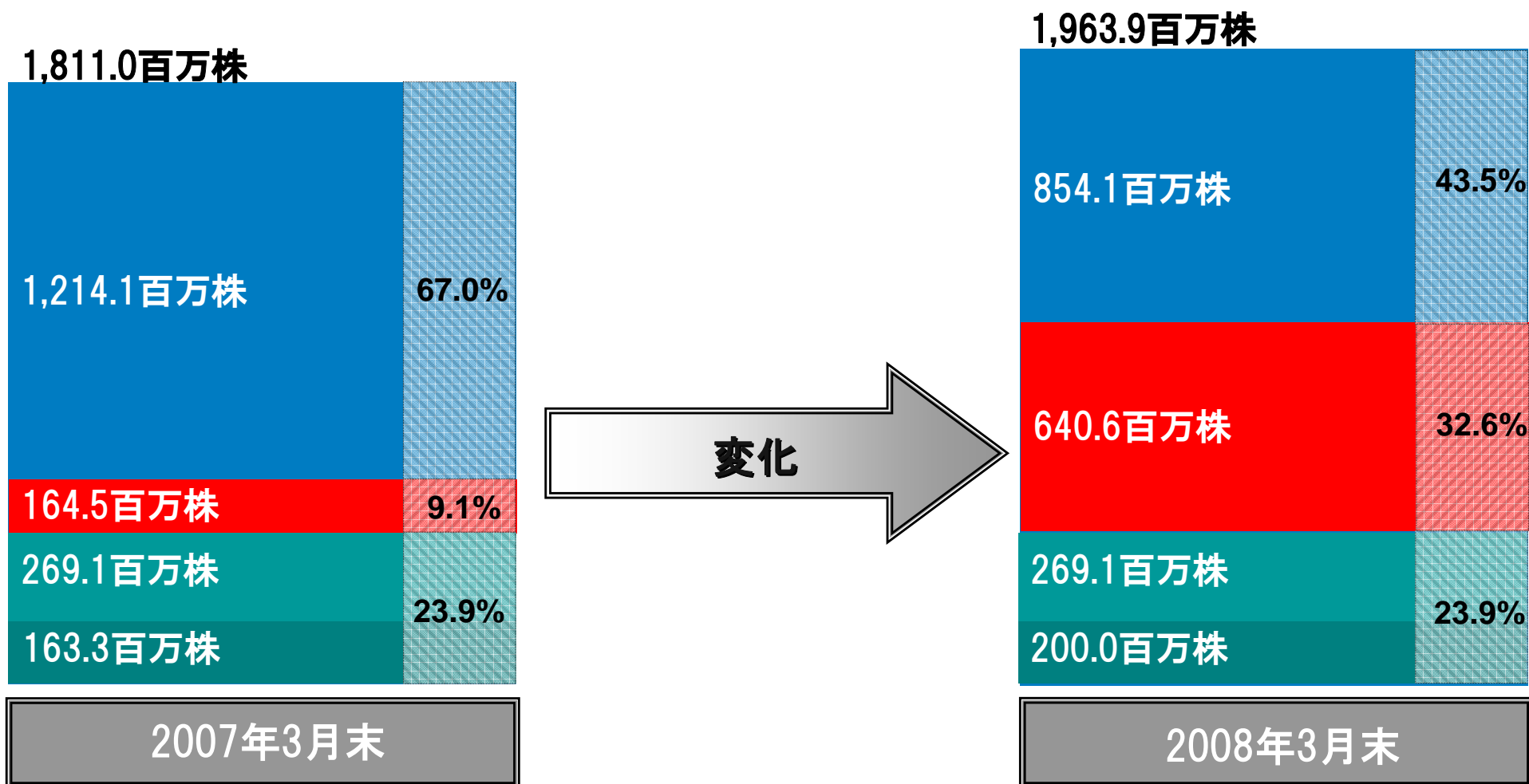
有形固定資産  
金銭の信託  
支払承諾見返

その他資産  
その他  
有価証券  
貸出金

# 投資家トピックス:

## 1. 株主構成の変化（潜在株式調整後、除く自己株式）

➡ 2大株主に

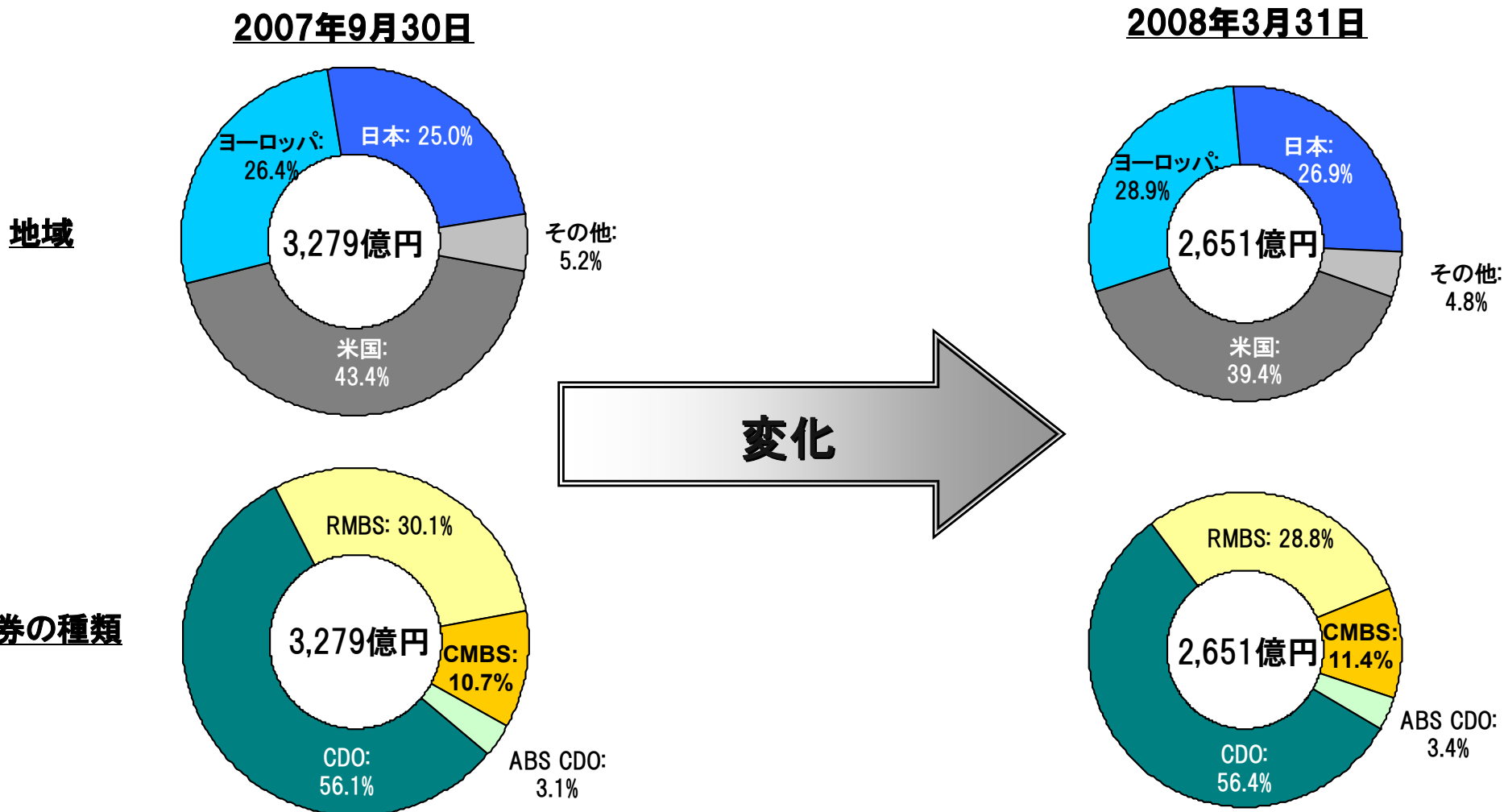


- その他の投資家
- 政府(預金保険機構)
- JCフラワーズ & Co.の関係者を含む投資家グループ
- 政府(整理回収機構)

# 投資家トピックス:

## 2.1 証券化商品\*

➔ 十分な情報開示と透明性は経営陣の最優先事項



\*証券化商品の2/3、外貨建証券化商品の84%はAA以上の格付け。証券化商品の詳細は決算概要の40-41ページをご参照ください。



# 投資家トピックス:

## 2.2 米国住宅ローン市場におけるエクスポージャー

➡ 直接かつ慎重に対応

### 米国住宅ローン市場向けエクスポージャーに係る評価減と引当\*

単位:百万米ドル

	2006年度		2007年度				
	4Q (2007年 1月1日－ 3月31日)	2006年度 合計	1Q (2007年 4月1日－ 6月30日)	2Q (2007年 7月1日－ 9月30日)	3Q (2007年 10月1日－ 12月31日)	4Q (2008年 1月1日－ 3月31日)	2007年度 合計
評価減	11	11	17	48	40	52	157**
引当等	8	8	0	107	-11	38	134***
合計	19	19	17	155	29	90	291

\* 2007年度に計上した評価損失及び引当金控除後の280.8百万米ドルのエクスポージャーは、280億円に相当

\*\* 2007年度に計上した157百万米ドルの評価損は156億円に相当

\*\*\* 2007年度に計上した134百万米ドルの引当金は134億円に相当

# 投資家トピックス:

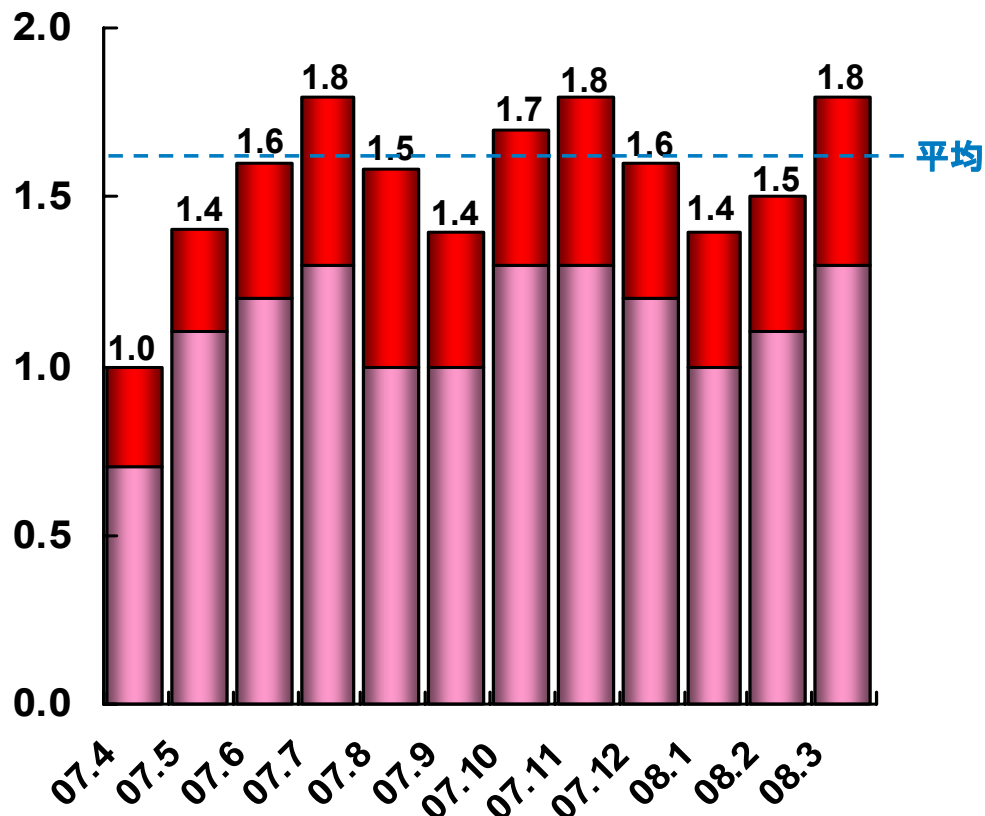
## 3. 利息返還の動向

→ 横ばいに推移

### アプラスおよびシンキの利息返還額

### 主要ポイント

単位:10億円



2007年度の利息返還額は  
約195億円、毎月平均約16億円

アプラスの利息返還額は  
毎月平均約4億円で横ばい

シンキの利息返還額は毎月平均  
約11億円で総じて横ばい

■ アプラス(連結データ)  
■ シンキ(連結データ)

# 新戦略： 概要

 目標：成長性および収益性が最も高い、国内の金融サービス企業を目指す

- 法人ならびに個人のお客さまにより良い商品とサービスを提供するために、現行の3つの戦略業務分野を2つに集約
- コストの合理化や株主付加価値(SVA)の導入を含む業務の最適化
- 良質な顧客基盤の自立的な拡大に注力しつつ、事業の成長のために積極的にM&Aを検討

# 新戦略： 法人向けセグメント

## ■ ターゲット顧客

- ◆ オーナーの個人・富裕層の個人を含む中間市場
- ◆ 金融機関、地域金融機関
- ◆ 公共部門、金融スポンサー

## ■ 戦略

- ◆ クレジット・トレーディング、プリンシパル・インベストメンツ業務の収益安定性の向上
- ◆ キャピタルマーケット商品の補完的な提供を通じ、当行と新生証券のシナジー効果極大化
- ◆ 昭和リースを法人向けセグメントに統合し、より有効にクロスセルの機会を創出
- ◆ ノンリコースファイナンス業務の資産効率向上
- ◆ 法人向け貸出業務における業種別専門性の更なる向上
- ◆ 独特かつ優れた外部運用会社との提携を通じ、銀行として国内有数の、新興市場やオルタナティブ・インベストメントのファンド販売を目指す

# 新戦略： 個人向けセグメント

- **ターゲット顧客**
  - ◆ 一般富裕層
  - ◆ 一般リテール
  
- **戦略**
  - ◆ コンシューマーファイナンスおよびリテール業務を一つの業務分野として再編成
  - ◆ 複数のチャネルを通じ、銀行、ノンバンク一体となった個人向け金融サービスを提供
  - ◆ 既存のノンバンクとの関係を活用した質の高いリテール顧客基盤の拡大
  - ◆ 効率性の向上とコストの合理化
  - ◆ 事業拡大に向けたM&Aの検討

# 当期純利益予想:

連結ベース

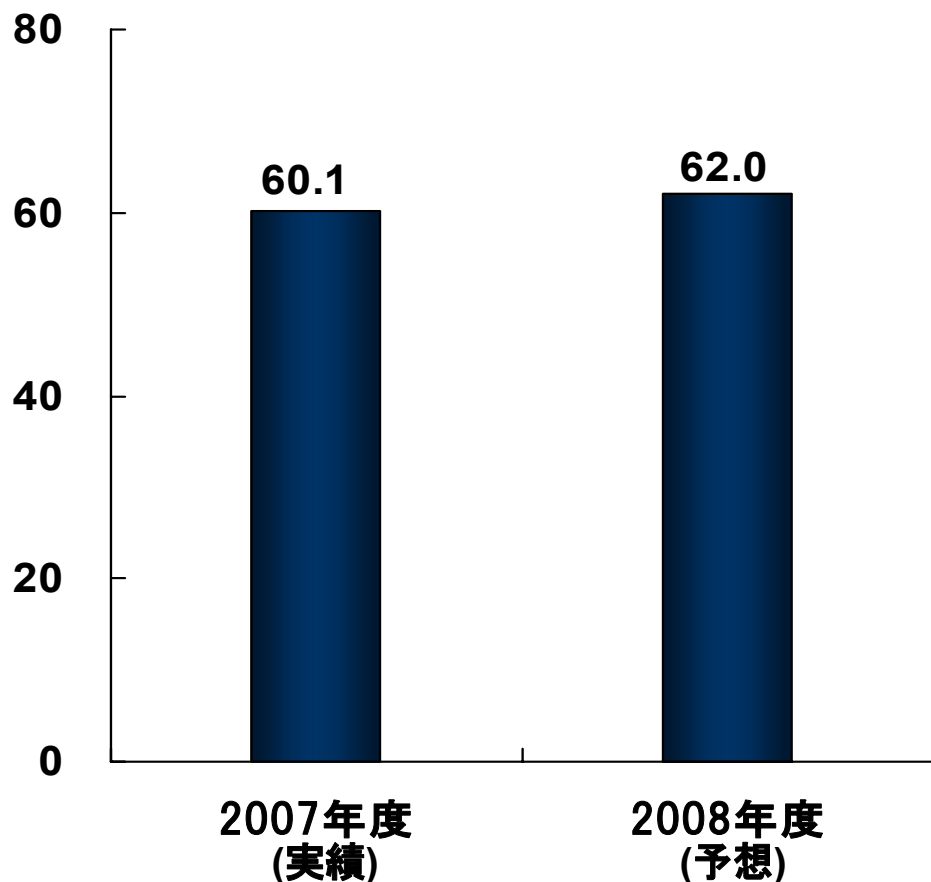


2009年3月期は小幅ながら3.2%の増加を予想

## 当期純利益

## 主要ポイント

単位:10億円



法人向けセグメントにおいてクレジット・トレーディング、プリンシパル・インベストメントおよび不動産ノンリコースファイナンスからの強い貢献を予想

経営改革が実り消費者金融業務（アプラスおよびシンキ）の業績回復を予想

アセットマネジメント業務、住宅ローン、預金の継続的な成長によりリテールバンキングの収益性回復を予想

# 当期純利益予想:

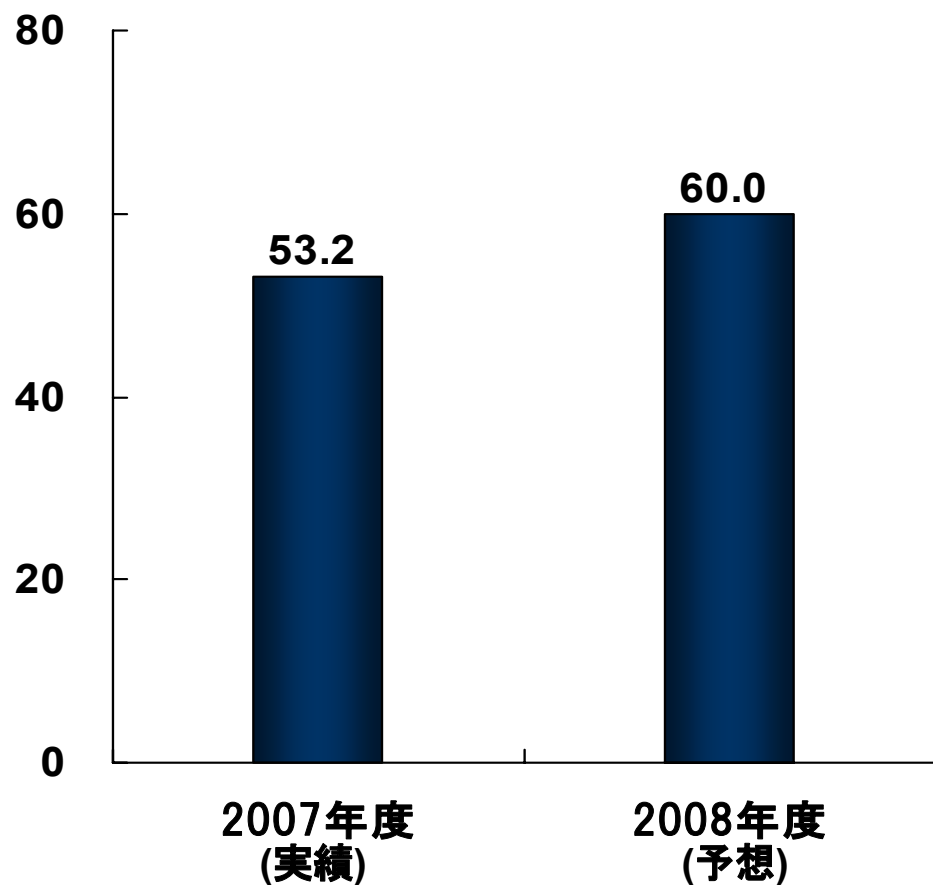
単体ベース

➔ 2009年3月期は12.8%の増加を予想

## 当期純利益

## 主要ポイント

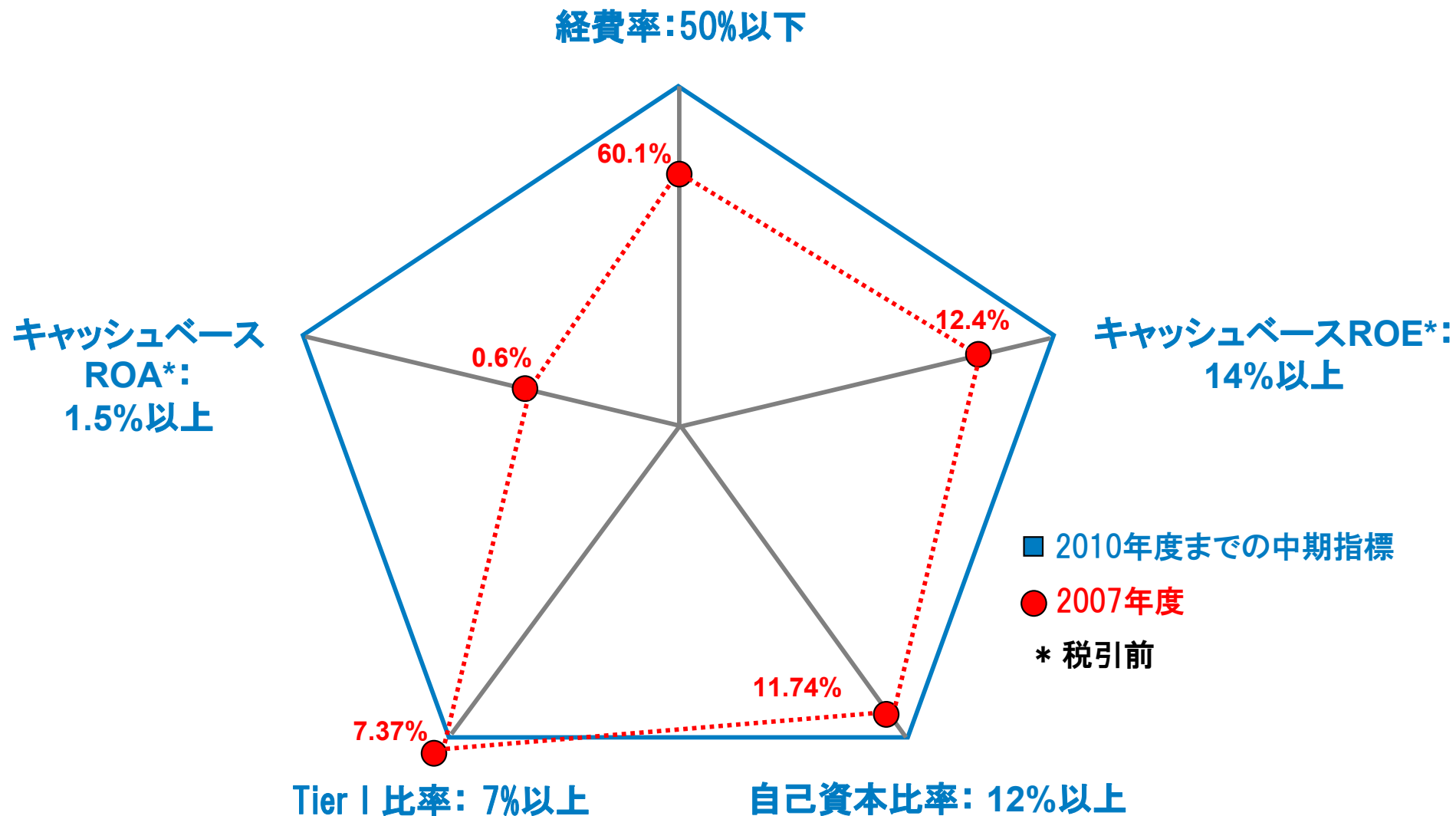
単位:10億円



主要業務の伸張により  
単体当期純利益の増加を予想

# 中期指標： 主要目標比率

➔ 2010年度までの経営から株主へのコミットメント





## ■ パート1

代表執行役社長 ティエリー・ポルテ

- ◆ 2007年度連結業績の概要
- ◆ 投資家トピックス
- ◆ 新戦略
- ◆ 業績予想と中期指標

## ✓ パート2

専務執行役 最高財務責任者 ラフール・グプタ

- ◆ 資金調達と流動性
- ◆ 業務分野の概要
  - ✓ インスティテューショナルバンキング
  - ✓ リテールバンキング
  - ✓ コンシューマーアンドコマーシャルファイナンス

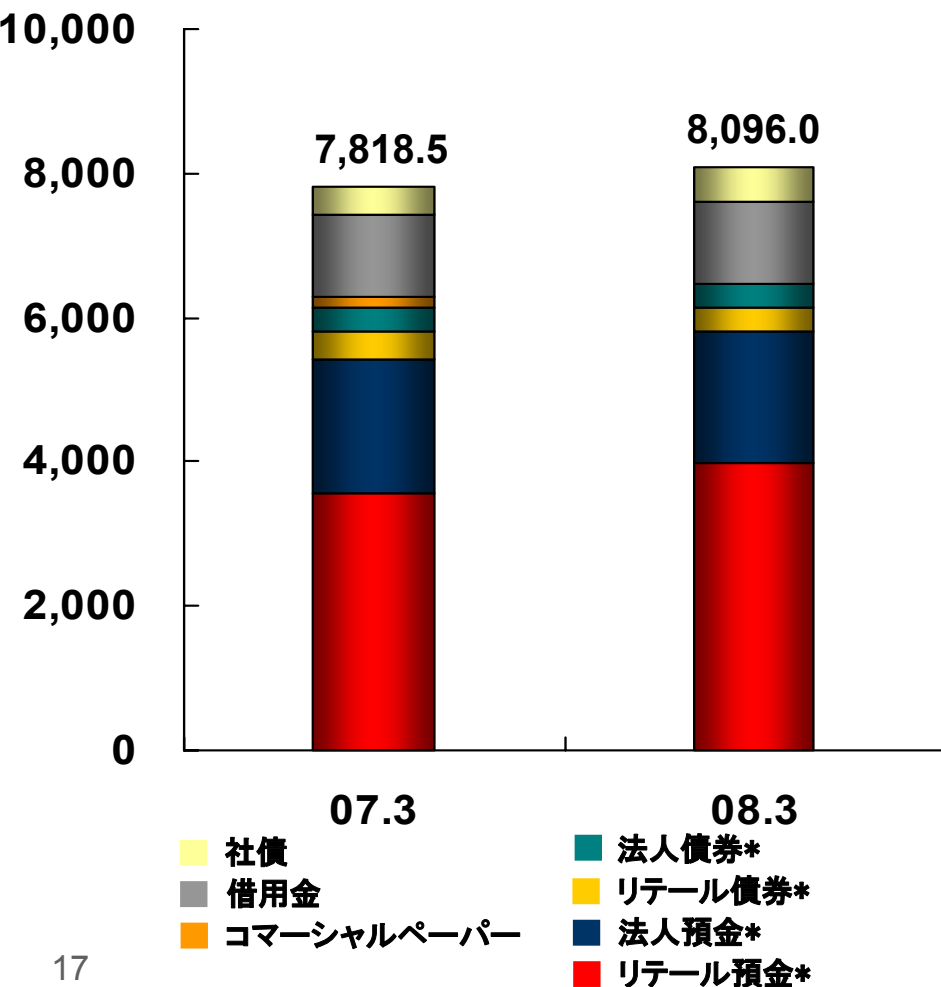
# 資金調達と流動性:

## 流動性と資金調達源の多様化

- 資金調達ニーズに合わせた流動性の管理と資金調達源の多様化
  - ✓ 法人・リテール顧客からの安定した資金調達が資金調達全体の約8割を占める

### 資金調達構造

単位:10億円



### 主要ポイント

資産の増加に伴い資金調達額も増加

顧客からの資金調達\*と顧客以外からの調達のバランスを維持

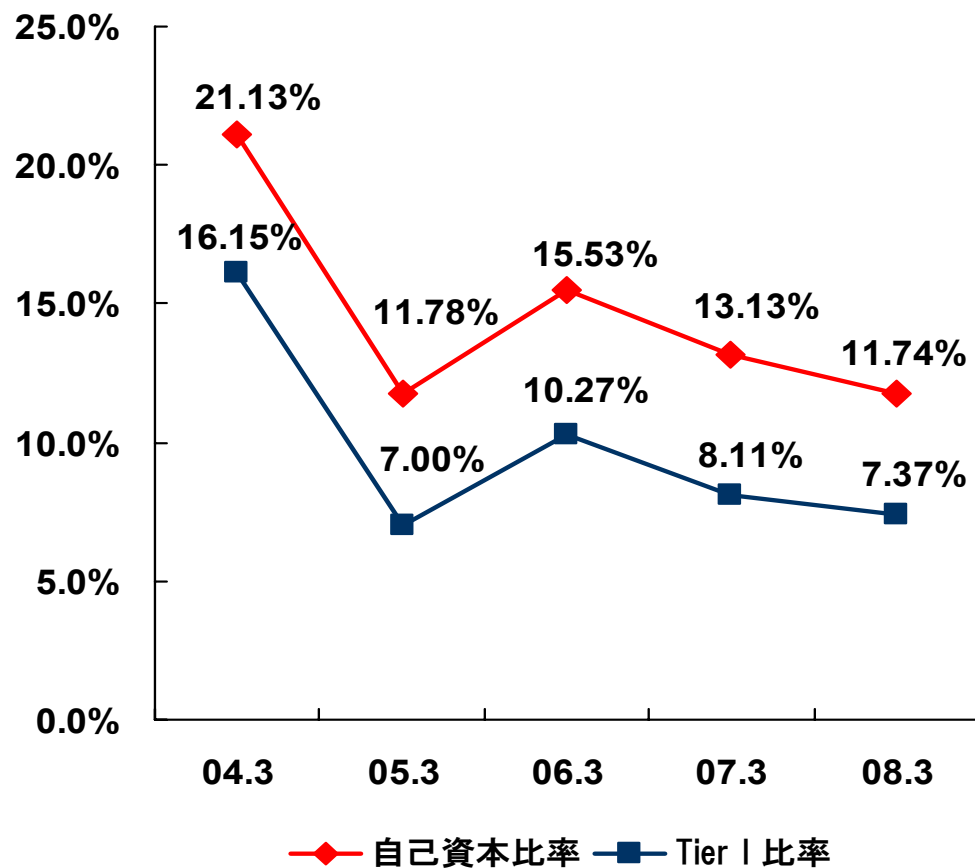
個人預金の堅調な伸び

\* 顧客からの資金調達

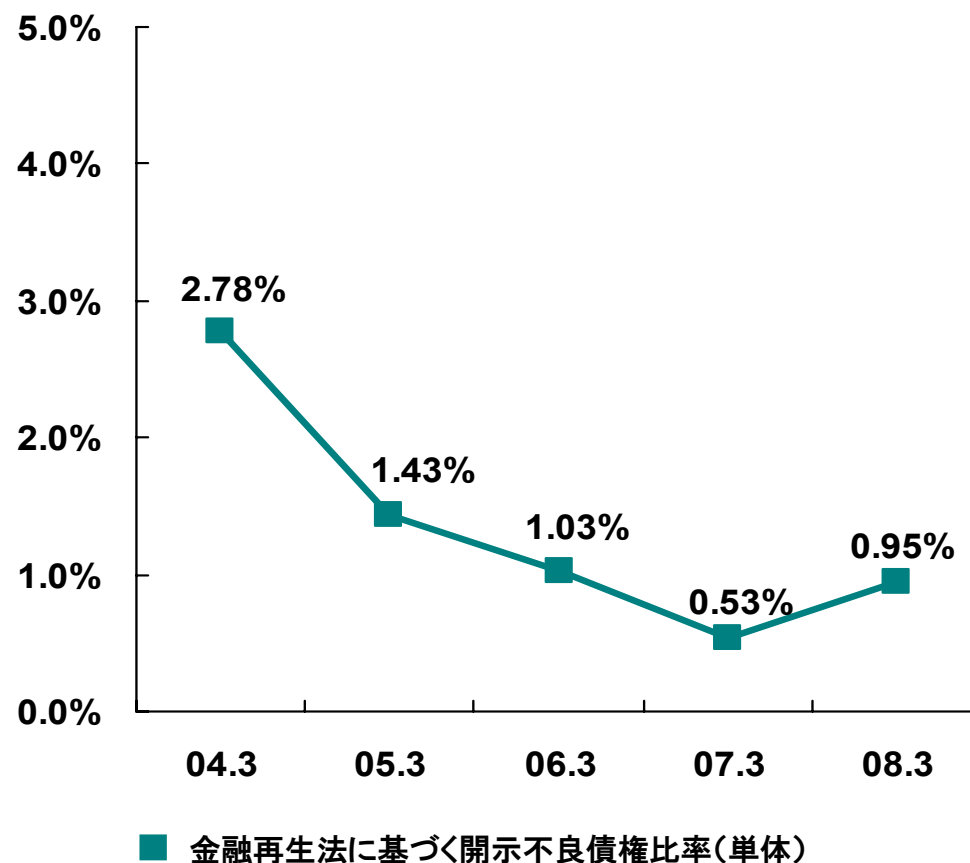
# 資金調達と流動性: 財務の安定性と資産の質

➤ 強固な財務の安定性と健全な資産の質を維持

## 財務の安定性



## 資産の質



# 業務分野の概要:

インスティテューショナルバンキング、リテールバンキング、コンシューマーアンドコマースシャルファイナンス

➤ インスティテューショナルバンキング業務の業績が、引き続きクレジット・コスト加算後実質業務純益の大部分を占める

業務粗利益

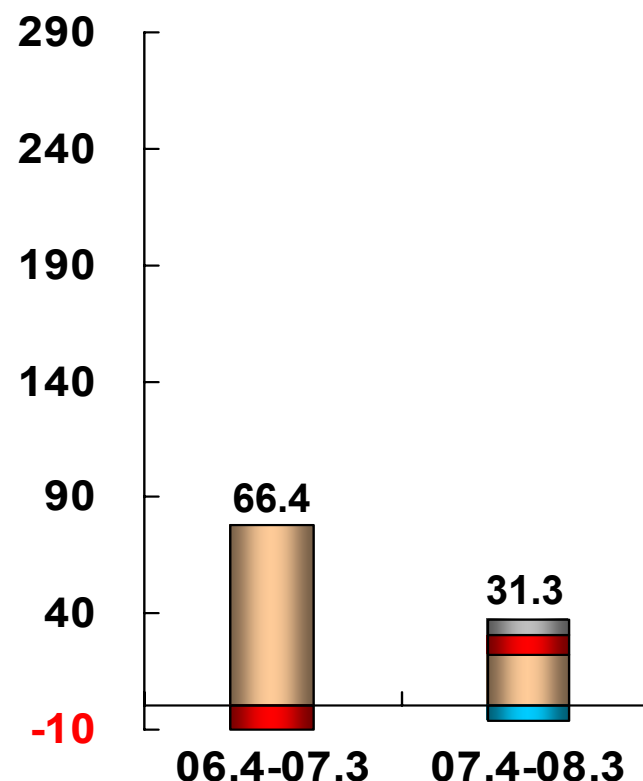
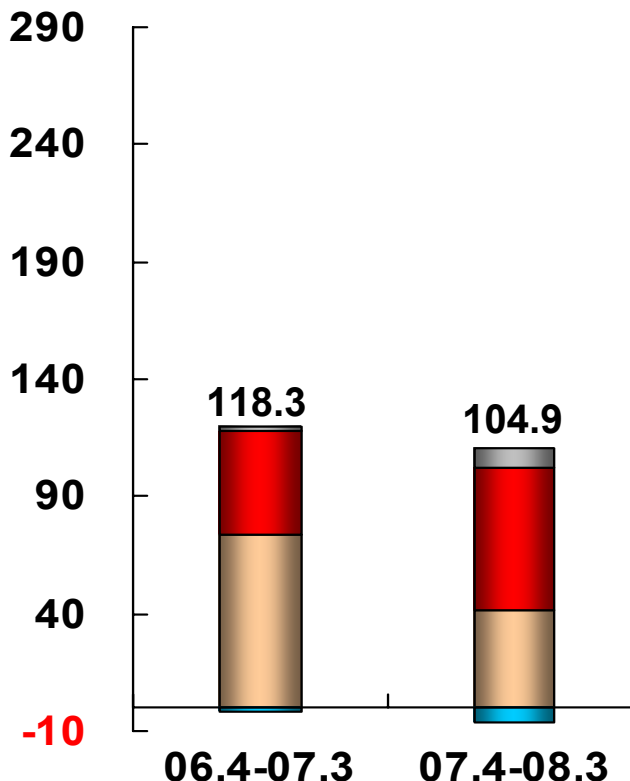
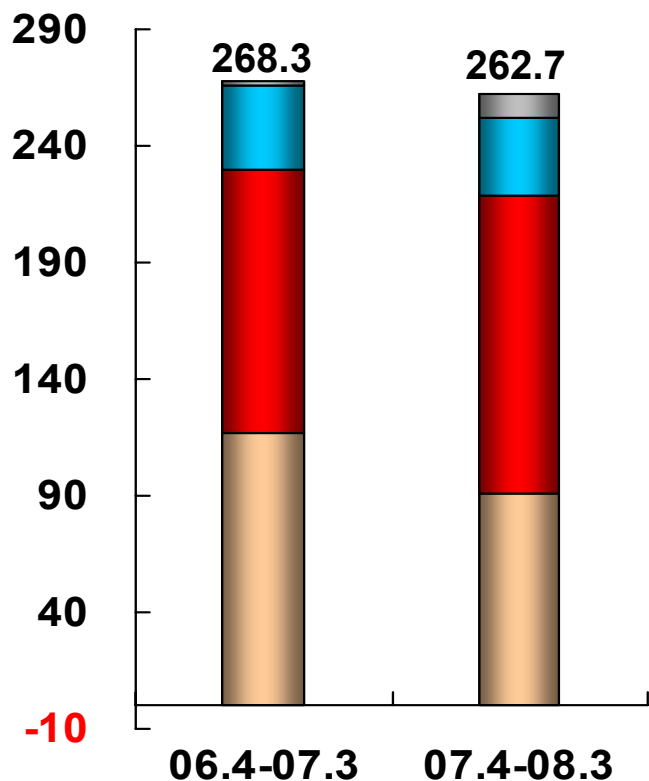
実質業務純益(損失)

クレジット・コスト加算後  
実質業務純益(損失)

単位:10億円

単位:10億円

単位:10億円



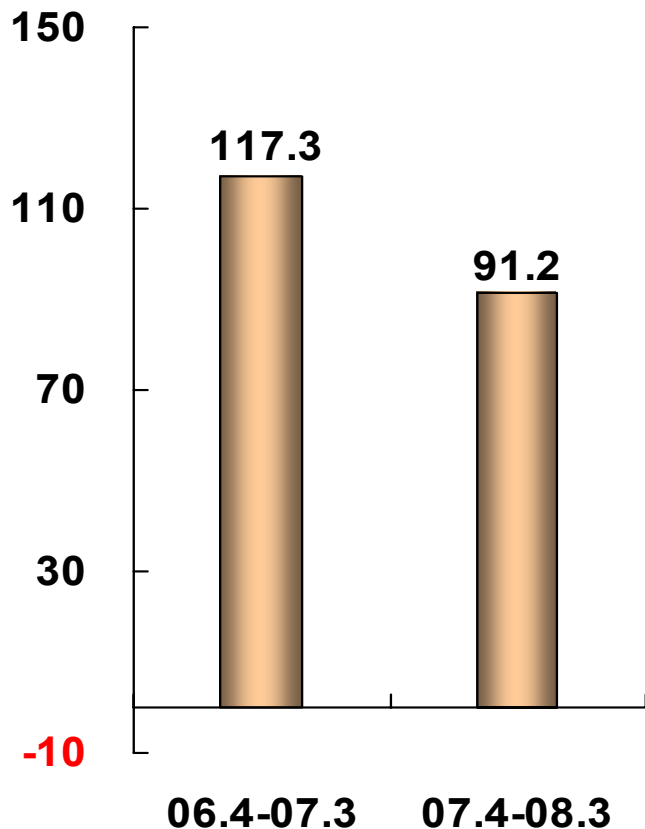
- ALM/経営勘定/その他
- リテールバンキング
- コンシューマーアンドコマースシャルファイナンス
- インスティテューショナルバンキング

# インスティテューショナルバンキング: 業績の概要

- 前年同期に計上したような大口の収益がなかったことや、米国住宅ローン市場関連エクスポージャーに係る評価減により業務粗利益が減少
- 業務拡大に向けた要員増により実質業務純益が減少
- 米国住宅ローン市場関連エクスポージャーに係る引当の計上によりクレジット・コスト加算後実質業務純益が減少

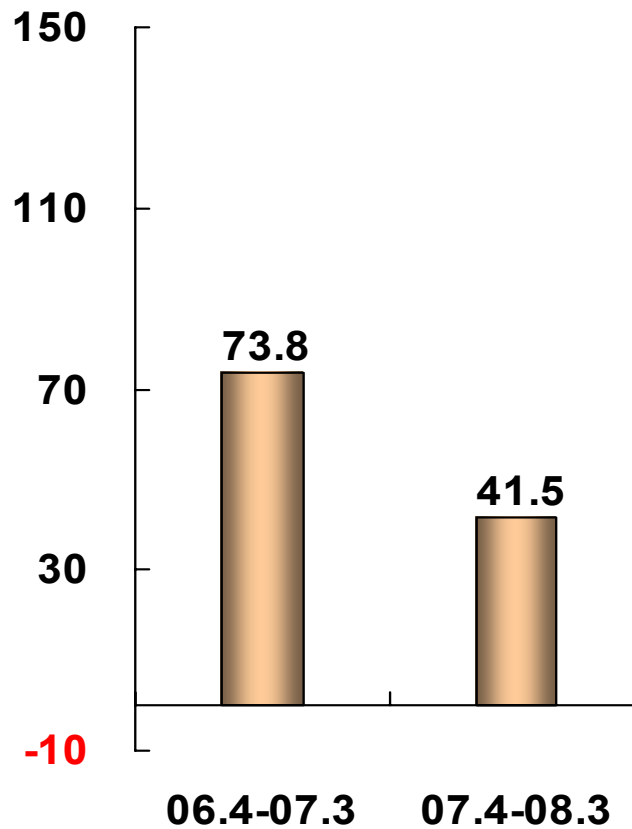
単位:10億円

業務粗利益



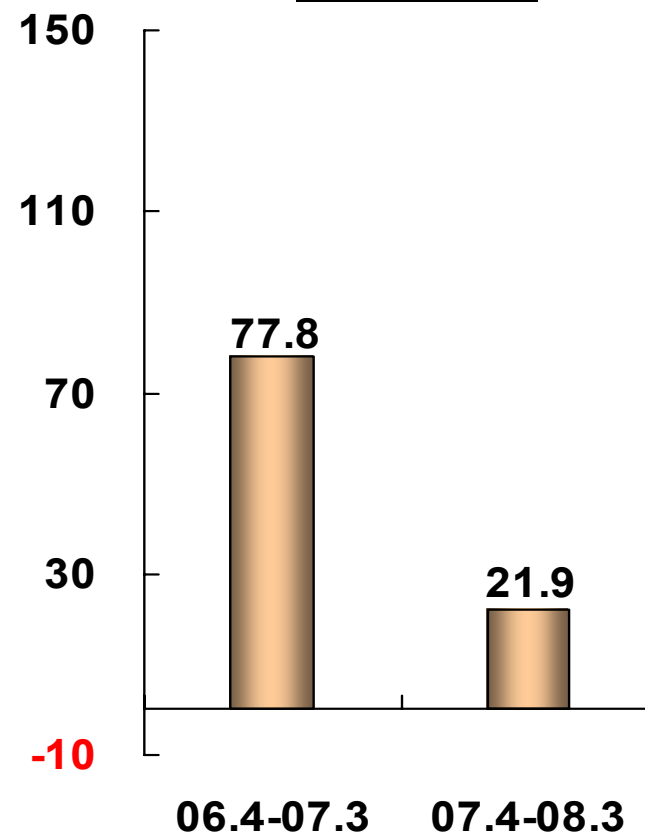
単位:10億円

実質業務純益



単位:10億円

クレジット・コスト加算後  
実質業務純益



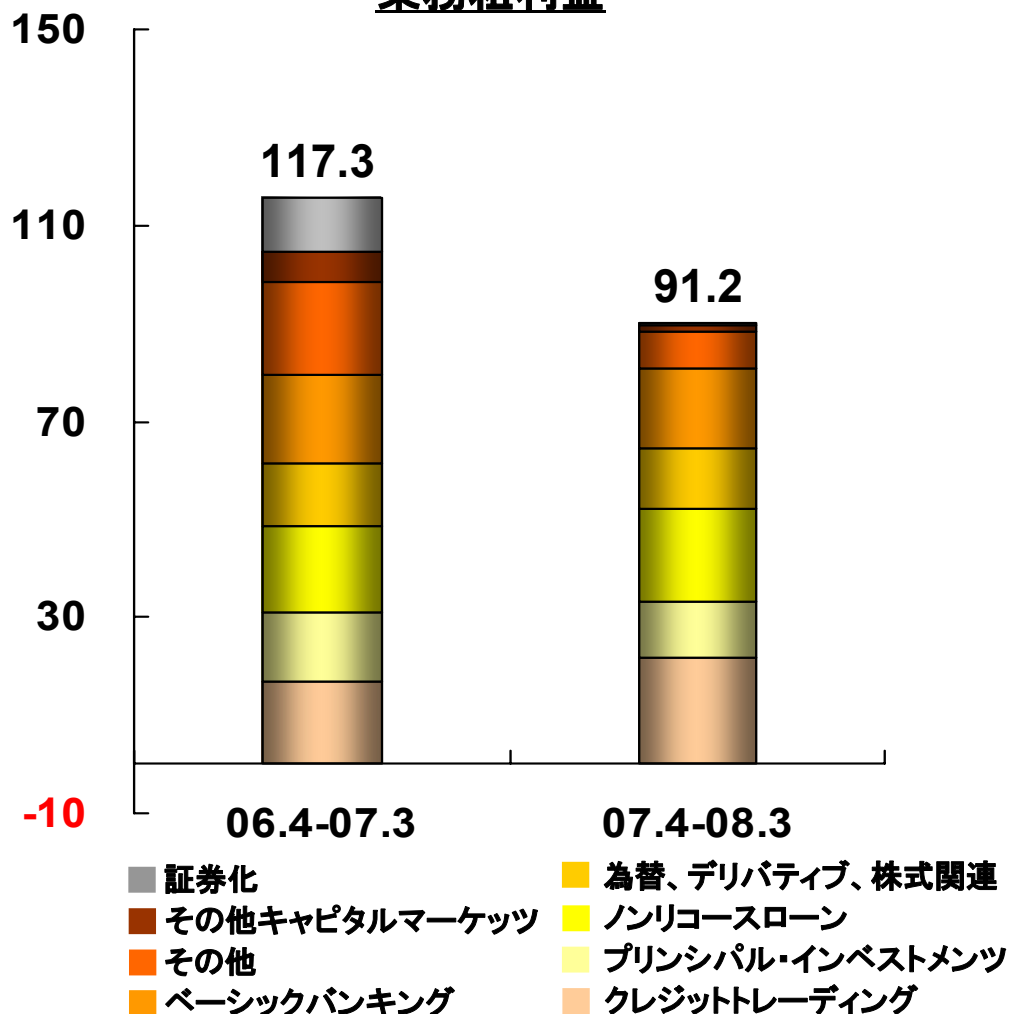
■ インスティテューショナルバンキング

# インスティテューショナルバンキング: 業務粗利益の内訳

➤ 収益源の多様化により収益全体の安定性を確保

単位:10億円

## 業務粗利益



## 主要ポイント

「クレジットトレーディング」、「不動産ノンリコースファイナンス」からの収益が増加

前年同期に計上したような大口の収益がなかったことにより、「その他」の収益が減少

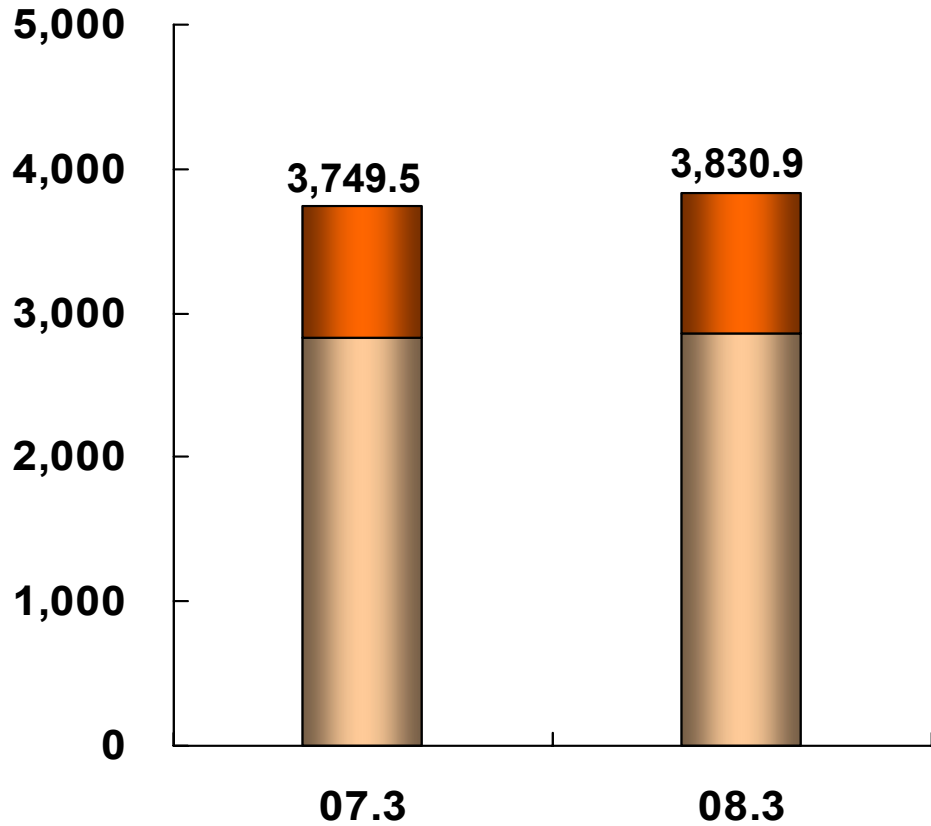
米国住宅ローン市場向けエクスポージャーに係る評価減により、「証券化」の収益が減少

# インスティテューショナルバンキング: 貸出、預金、債券

- 企業向け一般貸出とノンリコースファイナンスの残高は安定
- 法人預金と債券の安定基盤

企業向け一般貸出・ノンリコースファイナンス  
(含む私募債)

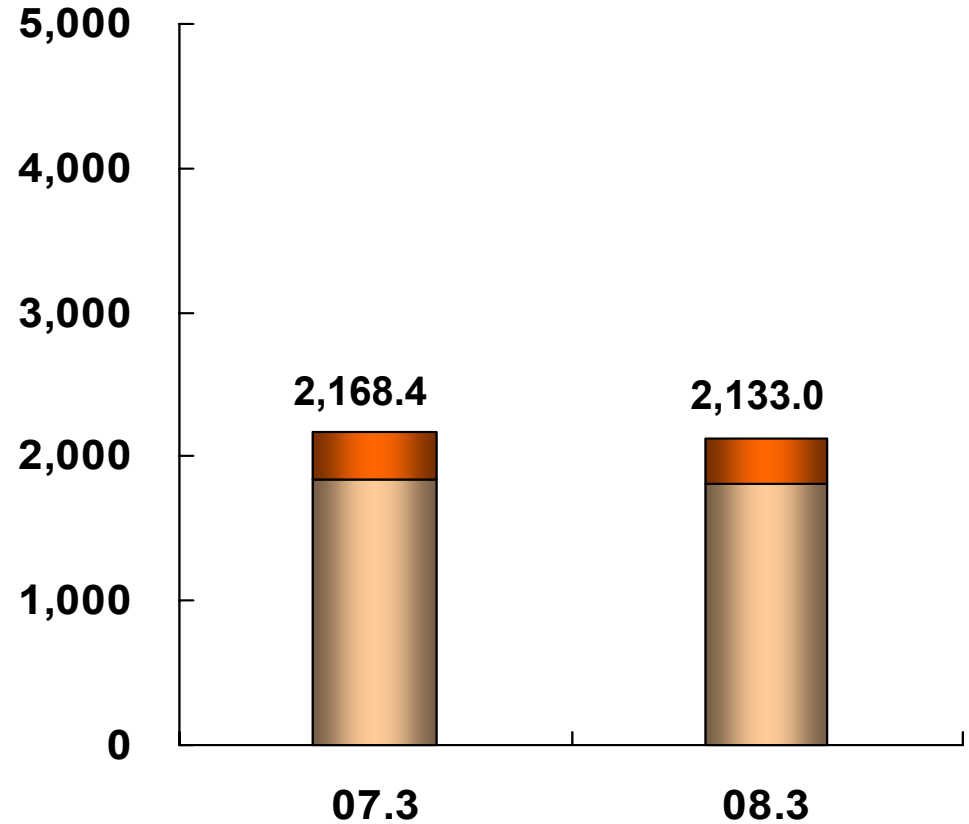
単位:10億円



■ 企業向け一般貸出 ■ ノンリコースファイナンス

預金・債券

単位:10億円



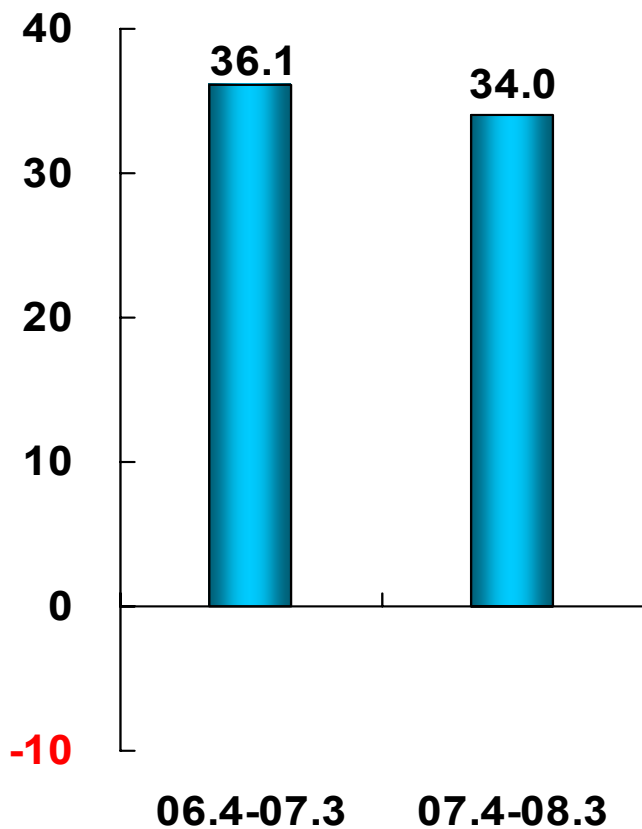
■ 法人預金 ■ 法人債券

# リテールバンキング: 業績の概要

▶リテールバンキングは厳しい環境下、業務粗利益が減少し、  
実質業務純損失、クレジット・コスト加算後実質業務純損失は前年同期比で拡大

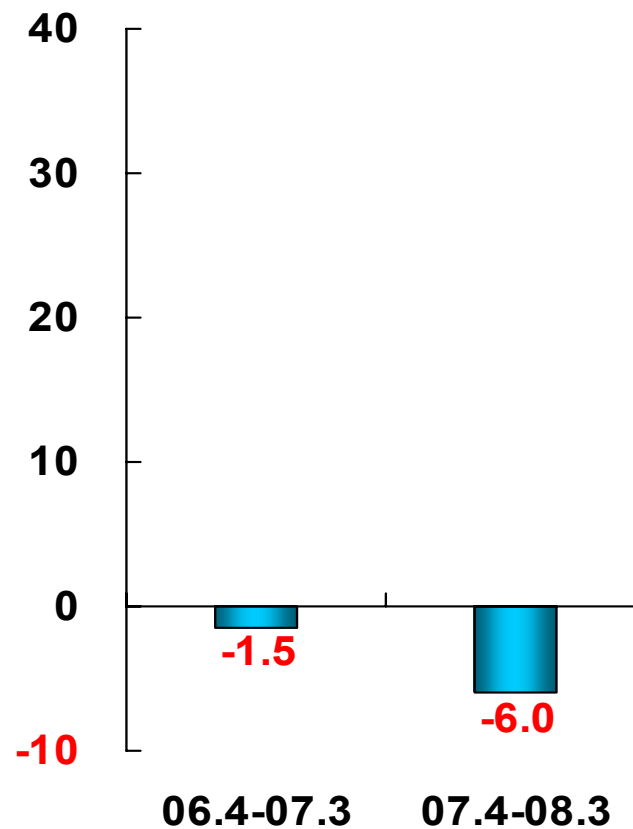
### 業務粗利益

単位:10億円



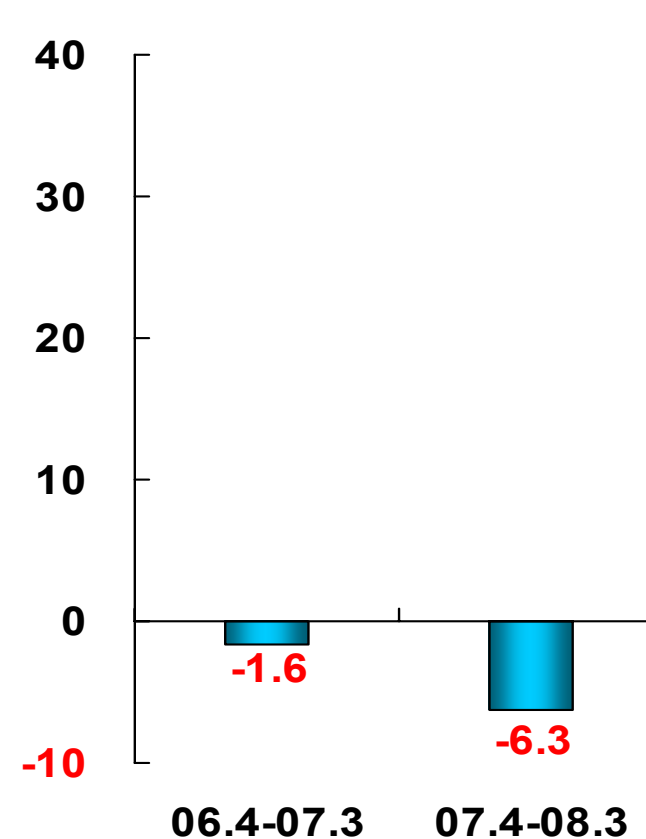
### 実質業務純損失

単位:10億円



### クレジット・コスト加算後 実質業務純損失

単位:10億円



■ リテールバンキング

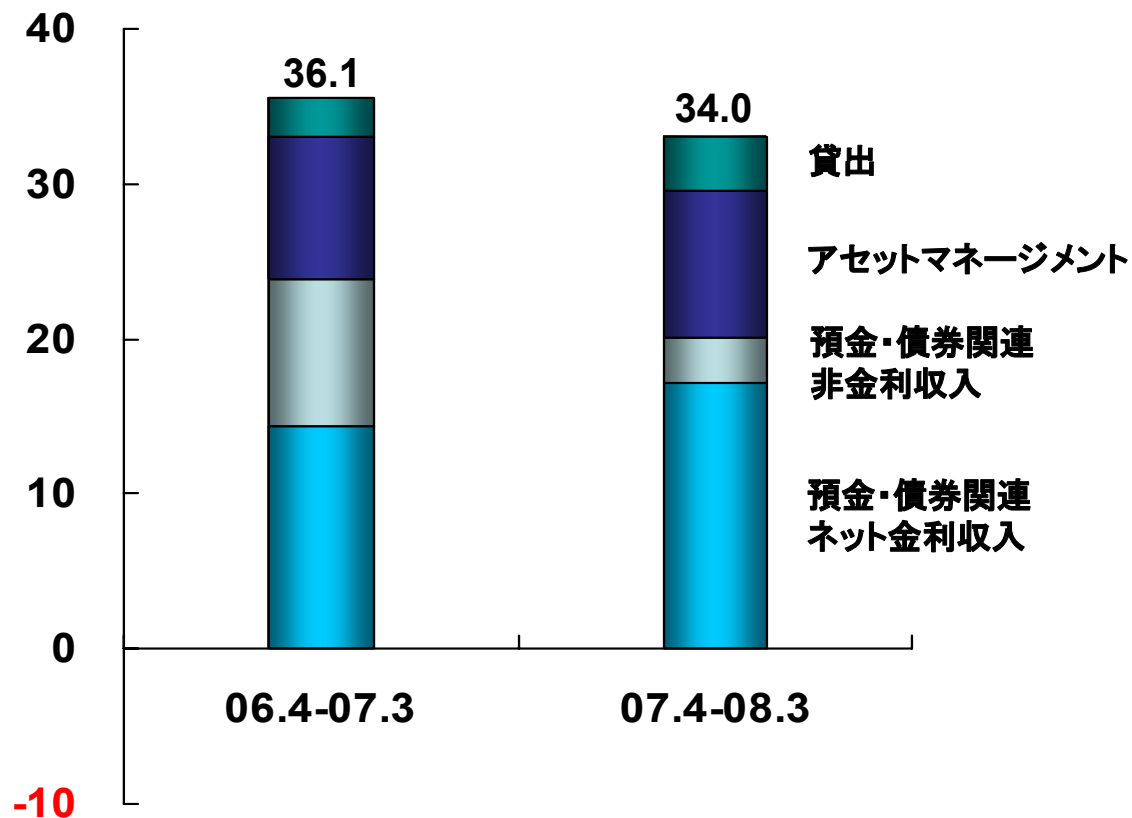


# リテールバンキング: 業務粗利益の内訳

▶ 預金関連非資金利益を除き全ての分野で業務粗利益が増加

## 業務粗利益

単位:10億円



## 主要ポイント

資金利益は増加したが  
非資金利益が減少

「預金・債券関連ネット金利収入」と  
「貸出」の大幅な伸び

仕組預金に係る非金利収入  
(オプション収益)が減少

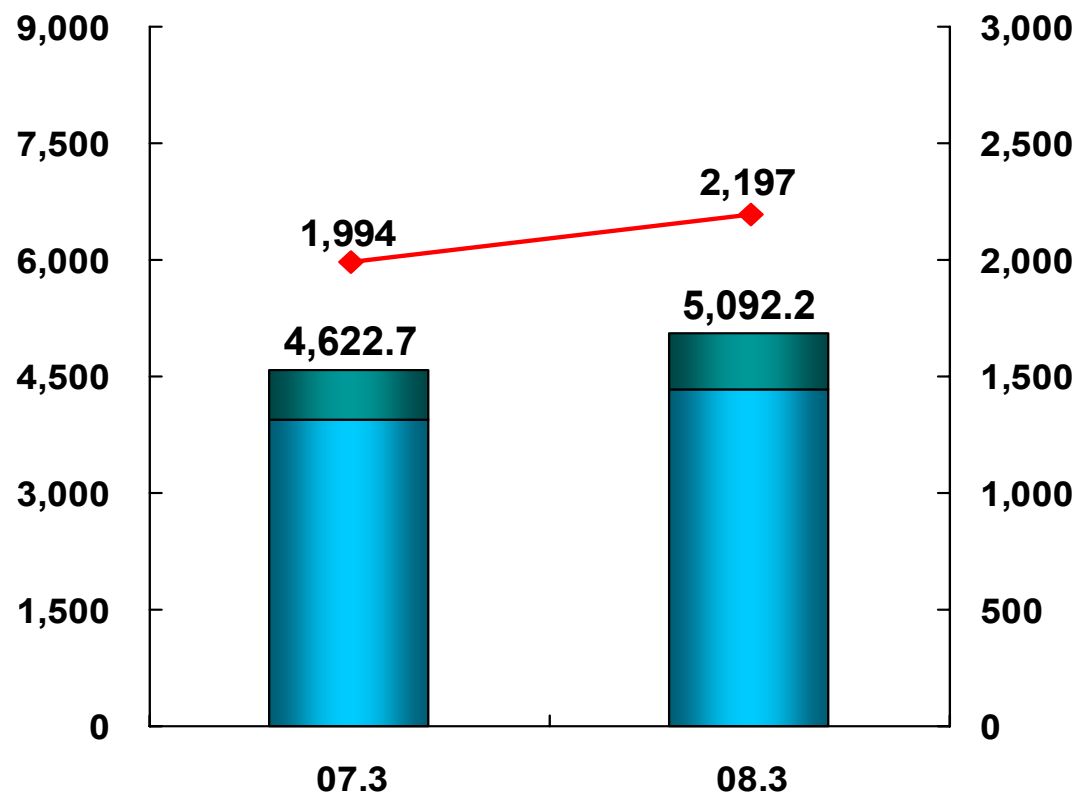
# リテールバンキング: 預り資産、リテール口座数、住宅ローン

- リテール預金、投資信託、変額年金の堅調な伸び
- 住宅ローン顧客の順調な獲得により住宅ローン残高が増加

### 預り資産・リテール口座数

単位:10億円

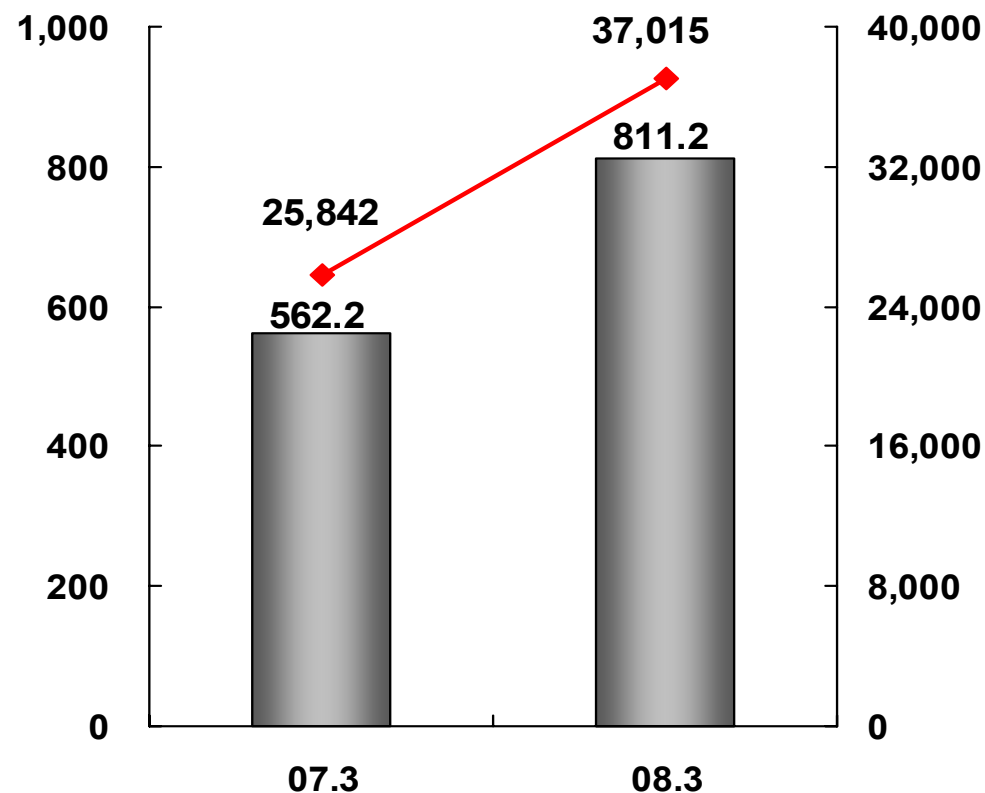
千口座



### 住宅ローン

単位:10億円

顧客



■ 預金・債券 (左軸)   
 ■ 投資信託/年金 (左軸)  
◆ リテール口座数 (右軸)

■ 住宅ローン残高 (左軸)   
 ◆ 住宅ローン顧客数 (右軸)

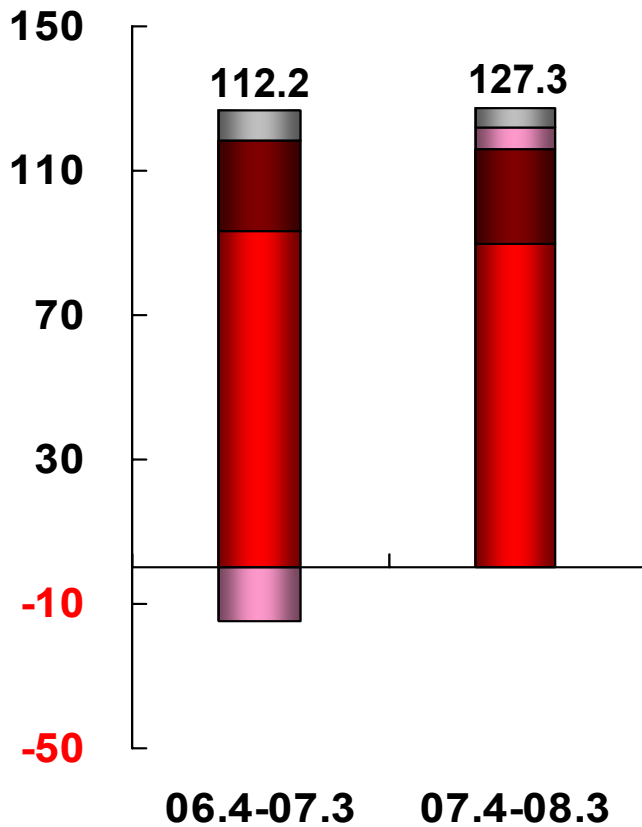


# コンシューマーアンドコマースシャルファイナンス: 業績の概要

▶ 主にアプラスの貢献と2007年度下期のシンキの業績改善により、クレジット・コスト加算後実質業務純益も増加

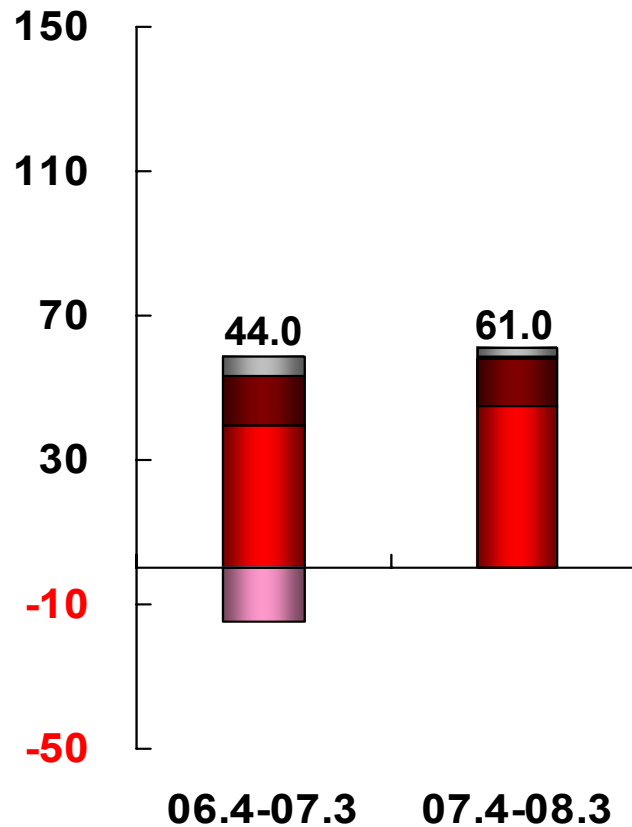
業務粗利益

単位:10億円



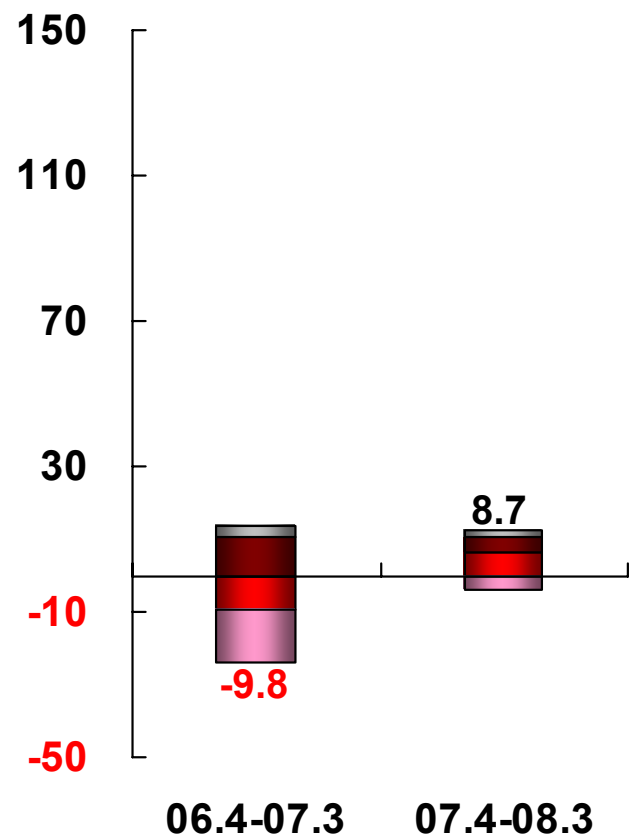
実質業務純益(損失)

単位:10億円



クレジット・コスト加算後  
実質業務純益(損失)

単位:10億円



- 昭和リース
- アプラス
- シンキ
- その他

# コンシューマーアンドコマースシャルファイナンス: アプラスおよびシンキ 資産・引当金の状況

- 与信基準の厳格化によりアプラスおよびシンキの総資産は減少
- 慎重な引当基準を継続

総資産・利息返還損失引当金(アプラス)\*

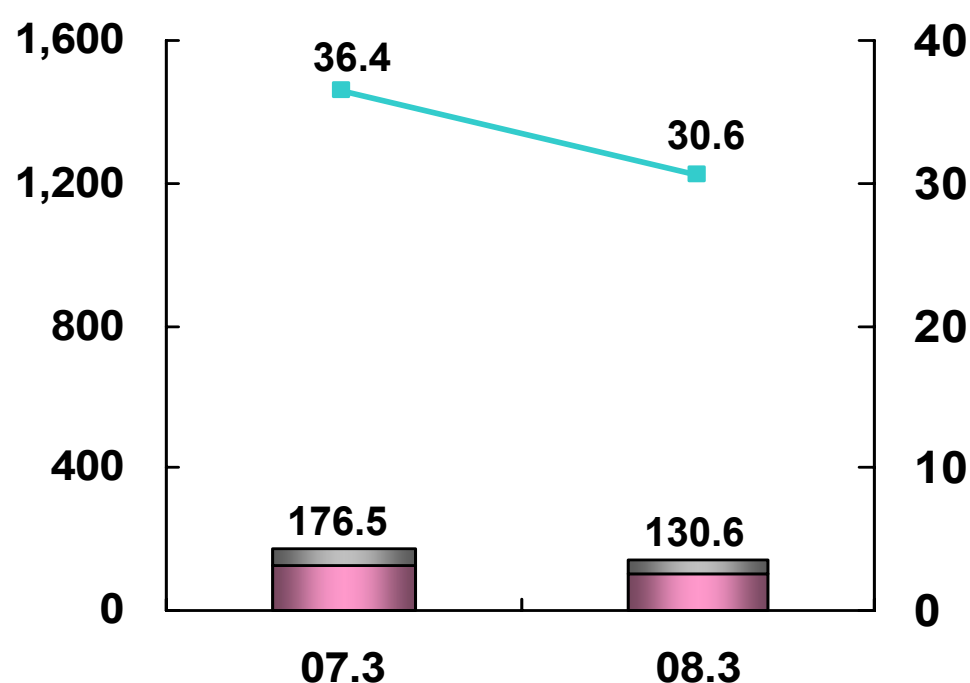
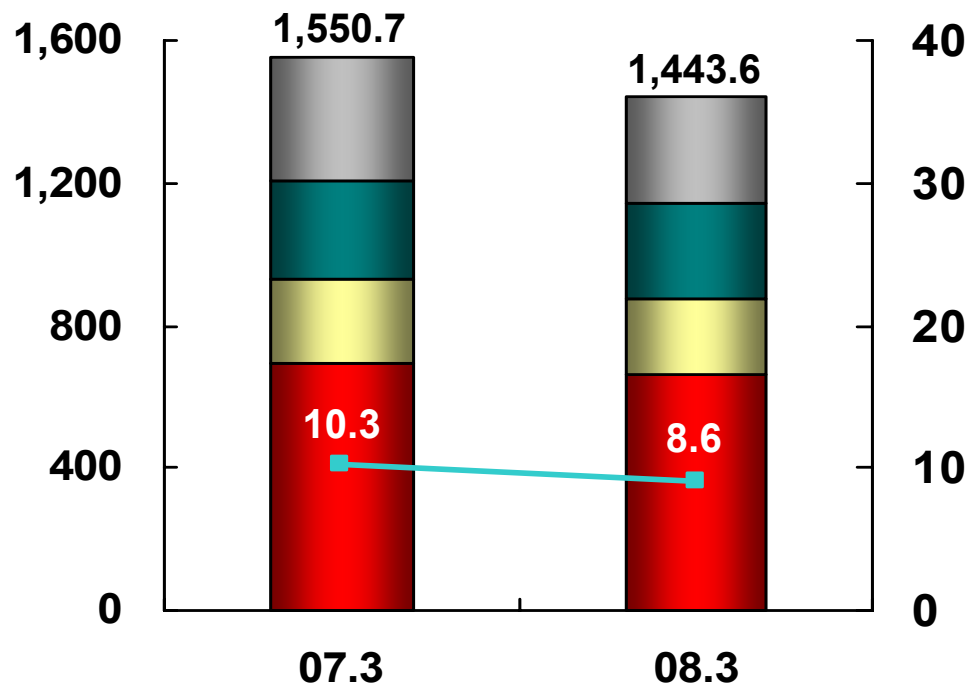
貸付金残高と利息返還損失引当金(シンキ)\*

単位:10億円

単位:10億円

単位:10億円

単位:10億円



- その他(左軸)
- 割賦売掛金(左軸)
- 貸出金(左軸)
- 支払承諾見返(左軸)
- 利息返還損失引当金(右軸)

\*アプラス連結データ

- 事業者向けローン(左軸)
- 消費者向けローン(左軸)
- 利息返還損失引当金(右軸)

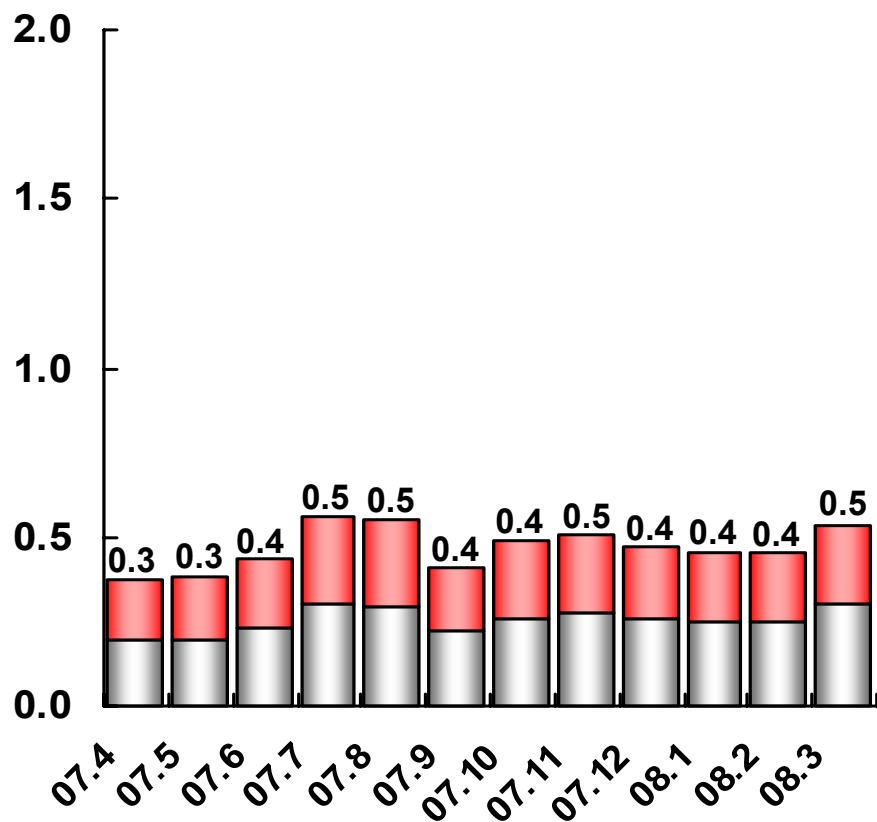
\*シンキ連結データ

# コンシューマーアンドコマースシャルファイナンス: アプラスおよびシンキ 2007年度利息返還の動向

➤ 利息返還請求は横ばい傾向に

## アプラス利息返還額\*

単位:10億円

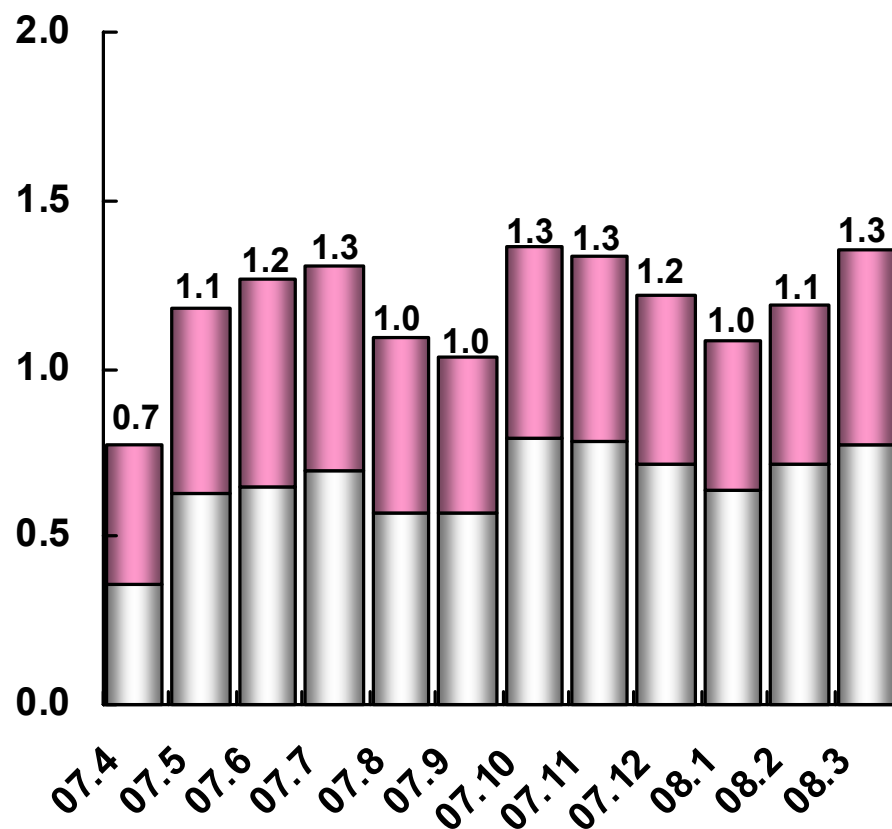


■ 債権放棄額  
■ 利息返還額

\*アプラス連結データ

## シンキ利息返還額\*

単位:10億円



■ 債権放棄額  
■ 利息返還額

\*シンキ連結データ

# 主要ポイント:

## 2007年度

### 2007年度連結決算の概要

- ・米国住宅ローン市場関連の評価減や、前年同期計上の大口の収益がなかったことにより業務粗利益が減少
- ・業務拡大に向けた要員増により実質業務純益が減少
- ・主に本店ビルやライフ住宅ローンの売却益が計上されたことにより当期純利益が増加

### 投資家トピックス

- ・株主構成の変化: 2大株主に
- ・証券化商品の詳細開示: RMBS, CMBS, CDO, ABS CDO
- ・利息返還は横ばい傾向に

### 2008年度の新戦略発表

- ・法人ならびに個人のお客さまへのより良い商品とサービス提供のため、3つの戦略業務分野を2つに集約
- ・コストの合理化や株主付加価値(SVA)の導入を含む業務の最適化
- ・自立的成長とM&Aによる良質な顧客基盤の拡大

### 2007年度は収益性を回復し、2008年度は更なる成長を予想

- ・2008年度の連結当期純利益予想は前年比3.2%増の620億円
- ・2008年度の単体当期純利益予想は前年比12.8%増の600億円

## 株式会社 新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8

電話番号：03-5511-8303

Fax番号：03-5511-5505

レイモンド・スペンサー グループIR部長・チーフIRオフィサー

[Raymond.Spencer@shinseibank.com](mailto:Raymond.Spencer@shinseibank.com)

藤木 康寛 グループIR部次長

[Yasuhiro.Fujiki@shinseibank.com](mailto:Yasuhiro.Fujiki@shinseibank.com)

石井 博司 グループIR部次長

[Hiroshi.Ishii02@shinseibank.com](mailto:Hiroshi.Ishii02@shinseibank.com)

高松 由依 グループIR部次長

[Yui.Takamatsu@shinseibank.com](mailto:Yui.Takamatsu@shinseibank.com)

# 免責条項

本資料には、当行および当行の子会社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定は不正確であることがあり得ます。様々な要因により、実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。当行は、将来の事象などの発生にかかわらず、必ずしも今後の見通しに関する発表を修正するとは限りません。尚、特別な注記がない場合、財務データは連結ベースで表示しております。

当行以外の金融機関とその子会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

本資料はいかなる有価証券の申込みもしくは購入の案内、あるいは勧誘を含むものではなく、本資料および本資料に含まれる内容のいずれも、いかなる契約、義務の根拠となり得るものではありません。